

## 看護学科

科目名: 社会福祉概論			担当教員 氏名: 鷹西 恒			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士等の資格を有した教員が、相談援助、自治体の各種福祉計画策定等の実務経験を活かして授業を行う						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
看護の領域において社会福祉を学ぶことは重要である。貧困や救護、虐待、ニート、少子高齢化、年金など生活の中にある福祉的な問題に着目し、それらに法律や施策、社会保障制度がいかにか作用しているかを具体的に学ぶ。また、保健、医療・福祉分野におけるネットワークのあり方や自立支援システムについても考察を深める。						社会保険 保健 医療 福祉 社会保障
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 6. 9. 10	
A 知識・理解力			社会福祉の概要を学ぶことで総合的な知識力を高めることができる			
C 論理的思考力			社会福祉実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる			
D 問題解決力			理論や社会事業を通して問題解決に至る方法と力を身につけることができる			
G 倫理観			福祉の学びを通して生命観や倫理観を身につけることができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 80 %	レポート: 15 %	発表: %	実技試験: %	その他: 5 %		
特記事項: その他とは授業のとり組み状況、態度のことである。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①生活と福祉 ～ライフスタイルの変遷と諸問題、なぜ福祉が必要なのか～				【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②社会保障の概念・歴史・制度体系				【事前】②当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③わが国の社会保険制度 ～なぜ保険金を払うのか～				【事前】③当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④社会福祉の歴史と援助技術				【事前】④当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤社会福祉の諸制度と施策～自立支援のための様々な仕掛け～				【事前】⑤当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥社会福祉行政のしくみ ～専門職はどこで働いているのか～				【事前】⑥当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦社会保障・社会福祉改革の動向				【事前】⑦当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧まとめ				【事前】テキスト全体の確認 【事後】授業の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度③メヂカルフレンド社 「社会福祉」ISBN: 978-4-8392-3356-3				その他参考文献など: 「厚生労働白書」厚生労働省		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 事前・事後学習において、テキストだけでなく、国の指標や各種データ等にも目を通してください。						